

喜界町



議会だより

176号

令和元年8月10日発行

写真：令和元年生まれの真莉依ちゃん

主
な
内
容

一般会計補正予算	2
常任委員会委員長報告	3
一般質問に4名が登壇	6
奄美群島議会議員大会報告	12
諸般の報告	13
読者の声・編集後記	14

発行／喜界町議会 編集／議会広報委員会

〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地

TEL:0997(65)1115・FAX兼用



令和元年第2回定例会は、6月3日から6月10日までの8日間開催されました。初日は、一般質問4件、平成30年度一般会計補正予算及び平成30年度特別会計の各補正予算の専決処分9件を承認、他6件の報告がありました。令和元年度一般会計補正予算・特別会計補正予算等6件は各常任委員会に付託しました。10日の最終本会議では、各常任委員会の各委員長から報告を受け、補正予算3件、条例1件、陳情1件、を可決し、発委1件を原案どおり可決しました。

一般会計補正予算1号 2億1,657万円追加(総額69億7,017万円)

◆ 一般会計補正予算の主なもの ◆

単位：千円

担当課	事業名	内容説明	予算額
企画観光課	企画費	テレビ共働受信施設大規模改修工事	1,653
	地方創世関連事業	移住支援事業負担金	1,000
	プレミアム付商品券事業費	プレミアム商品券発行補助金	67,000
農業振興課	農業振興費	台風被害でのゴミ処理委託料(農業関係分)	1,967
	農業振興費	百之台牛舎の解体工事費	2,897
教育委員会 総務課	学校建設費	喜界中学校施設改修工事費	110,000

常任委員会委員長報告

総務文教常任委員会

総務文教常任委員長 榮 哲治

本会議において当総務文教常任委員会に付託されました議案第27号、令和元年度喜界町一般会計補正予算（第1号）の当委員会分について審査が終了しましたので、その経緯と結果について報告いたします。当委員会は6月5日、委員全員出席のもと開催し、審査日程を1日間と定め、審査にあたっては主管課長の出席を求め、審査いたしました。

補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億1,657万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ69億7,017万7,000円とするものであります。

【総務課所管分】

●歳出の主なものは、総務管理費の諸費負担金補助及び交付金250万円の増額は一般コミュニ

ティ助成事業補助金で、志戸桶東部地区分で備品の購入費であります。

【企画観光課所管分】

●歳入の主なものは、総務費国庫補助金1,930万9,000円の増額は、プレミアム付商品券1,340万円、プレミアム付商品券事務費補助金590万9,000円であります。これは、低所得者や子育て世帯、0歳から3歳児が対象であります。

総務費県補助金182万9,000円の増額は、喜界馬プロジェクト補助金107万9,000円と移住支援事業補助金75万円であります。国と県から4分の3の補助金であります。

雑入の町イチ！村イチ！出展助成金50万円の増額は、県の町村会からの助成金であります。都市部と地域をスポーツで結ぶ関係拡大事業助成金170万円の増額は、地域活性化からの助成金であります。

プレミアム付商品券購入5,360万円の増額は、一般の方が購入するプレミアム付商品券であります。

●歳出の主なものは、企画費の負担金補助及び交付金165万3,000円の増額は、テレビ共同受信施設大規模改修工事で、浦原集落分であります。

備品購入費67万円は鞍の購入17万円、喜界馬購入費50万円で、トカラ馬購入費であります。

負担金補助及び交付金100万円は、移住支援事業負担金です。国が進める事業で、首都圏から地方への移住者への補助金で、国2分の1、県4分の1、町4分の1であります。5年間の継続事業で、3年未満で帰ると全額返納の条件があります。

プレミアム付商品券事業費7,290万9,000円の増額は、10月からの消費税引き上げに伴う低所得者及び子育て世帯（0歳から3歳半児）へ消費に与える影響を緩和する目的で、プレミアム付

商品券の販売を行う市町村に対して財政の支援を行うものであります。

負担金補助及び交付金6,820万円はプレミアム付商品券発行補助金6,700万円で、各商店への換金分です。プレミアム付システム改修費は、120万円あります。

観光費の258万円の増額は、都市部の顧客ニーズを理解し運動意識の高いターゲットを多く抱えるフィットネスクラブと連携したイベントを通じ、関係人口の増加や地域経済の活性化、受け入れ体制の構築を目指すものであります。

備品購入費85万7,000円は芝刈り機購入費で、百之台公園分であります。

観光宣伝事業費76万5,000円の増額は、町イチ！村イチ！の出展助成金で、東京有楽町の国際フォーラムで開催されるイベントに参加することで、特産品の販売、郷土芸能の披露等を通じて、町村の魅力や自慢の一品を首都圏の住

民に幅広く認知していただくことで、特産品の購入や町村との交流等による関係人口拡大、観光体験プログラム等による交流人口の拡大を図り、町村にさらなる活性化を目指すことを目的としております。

◆主な質疑

質疑

プレミアム付商品券の対象者は何人か。

答弁

2,680人で低所得者及び子育て世帯、0歳から3歳半まで。

質疑

低所得者の基準は。

答弁

非課税世帯。

質疑

喜界馬の今後の計画について。

答弁

馬専用の担当従業員を雇い、鞍のつけ方から調教の仕方を学んで

もらい、アニマルセラピーへの活用、早町小学校と連携して観光と教育と障がい者への支援に生かしていきたい。今後、雌1頭を増やす予定である。

質疑

プレミアム付商品券は1人2万円、2万5,000円分の商品券が買えます。一旦お金を支払い、商品券を買ってもらうのがネックである。差額分を支給することはできないか。

答弁

事務的には簡単だが、今回は支援策の方法が色々あり、商品券の形となった。

【教育委員会総務課所管分】

●歳入の主なものは、教育費国庫補助金の中学校費補助金3,003万7,000円の増額は、学校施設環境改善交付金であります。

過疎対策事業債の学校教育施設整備事業債8,990万円の増額は、喜界中学校大規模改修工事事業分です。

●歳入の主なものは、学校建設費1億2,000万円の増額は、委託料1,000万円、管理委託料です。工事請負費1億1,000万円は喜界中施設改修工事であります。

◆主な質疑

質疑

大規模改修の内容について。

答弁

1、2年生の東門の校舎で昭和61年建設であり、老朽化に伴い、長寿命化を図るため、大規模な改修が必要のため。

質疑

工事中の授業について。

答弁

3年生の校舎の特別教室を使いながら、改修工事については1階と2階、別工程で行う。

質疑

工事の騒音は避けられないと思うが、工期はいつまでか。

答弁

今年度末の改修完了予定。

質疑

クーラー設置について。

答弁

3年生校舎から順次取りつける。小学校は来年以降になる。

質疑

業者について。

答弁

島内業者でリース方式を予定しております。

以上で、審査を終了し、当委員会は討論なく、令和元年度喜界町一般会計補正予算(第1号)は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

産業福祉常任委員会

産業福祉常任委員長 安田英次郎

当委員会に付託されました議案第27号から議案第30号までは、本

会議において町長より説明を受けましたが、さらに詳細な審議を必要とするため、全委員出席のもと委員会を開催し、審査期間を6月5日の1日間と定め、担当課長の出席を求めて、審議を慎重に行ったところであります。議案第27号、令和元年喜界町一般会計補正予算（第1号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億1,657万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ69億7,017万7,000円とするものであります。

【農業振興課所管分】

●歳出の主なものは、農林水産業費の委託料19億6万7,000円の増は、昨年度の台風被害に伴う被災ごみ、主に牛舎やビニールハウス等の運搬のための処理費用であります。工事請負費289万7,000円の増は、昨年度の台風被害を受けた百之台牧場の旧牛舎と倉庫の解体工事費用であります。

◆主な質疑

【質疑】

処理する災害ごみは、仮置き場のなかで農業振興課分であるのか、また、いつ頃までに処理する予定か。

【答弁】

農業振興課分の災害ごみで、牛舎、ビニールハウス等の資材、屋根、ハウスのパイプ等である。台風到来シーズンまでには完了するよう、遅くとも8月上旬までには完了する予定である。

【質疑】

一般財源から支出することになっっているが、補助対象事業にはならなかったのか。

【答弁】

対象事業がない。

【住民課所管分】

●歳入の主なものは、衛生国庫補助金、内示に伴う一般廃棄物焼却施設整備交付金4,151万9,000円の増額補正であります。

そのため過疎対策事業債を交付金の歳入にあわせ、町債の焼却処理

施設整備事業4,150万円を減額しております。

【保健福祉課所管分】

●歳入の主なものは、民生費国庫負担金で低所得者保険料軽減負担金419万6,000円、喜界町介護保険条例の一部を改正する条例の専決処分に係る介護保険料の一部改正に基づき、減収となる介護保険条例特別会計の介護保険料分を国が2分の1、県が4分の1、町が4分の1負担するものであります。歳出に介護保険特別会計を繰り出すものであります。

以上で審査を終了しまして、ほかに質疑、討論はなく、採決に入りました。

異議なしと認め、議案第27号、令和元年度喜界町一般会計補正予算（第1号）は、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

【特別会計】

【国民健康保険特別会計】

直営診療施設勘定の歳入歳出予

算の総額に歳入歳出それぞれ450万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3,064万6,000円とするものであります。

社会保険診療報酬収入445万円、一部負担金収入、患者様の自己負担分5万円です。

歳出は医薬材料費450万円。C型肝炎治療薬ハーボニーという薬で、特定の方に12週間という一定期間のみ処方することになります。診療所のドクターの診察所見により、専門の医療機関への照会を行い、診療所における治療を進める協議の上で判断しておりますとのことであります。

以上で審査を終了し、ほかに質疑、討論なく、採決に入りました。異議なしと認め、全会一致にて原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

一般質問

町政のことが聞きたい

第2回定例会で4名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する
良岡 理一郎 議員

会計年度任用職員制度について

質要

平成29年（2017）に「地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律」が成立にともない、来年4月から、これまで任用等に係る制度が不明確だった「一般職の非常勤職員について、新たに「会計年度任用職員」が設けられた。

新制度の趣旨のひとつは、非正規雇用職員の処遇を見直して、その職にふさわしく改善することにある。

今後、臨時職員の働きかた、処遇はどのように変わっていくのか、住民サービスの低下を招かないか。来年4月施行に向けその準備状況を伺う。

質問

会計年度任用職員制度の趣旨、臨時職員の労働諸条件等はどういうに計画しているのか。総務省の技術的助言（給与水準、期末手当、通勤手当等、募集・任用時の注意、不適切な空白期間の禁止、休暇等）と国会の付帯決議（再任用明示、公務の常勤職員を考慮し任用職員の在り方を検討、不利益変更の禁止）を遵守して制度設計すべきである。

答弁

町長、行政管理室管理監
少子高齢社会のもと外界離島で自主財源も乏しい本町が将来とも一町を維持するためには、民間活力の活用、職員体制の見直し、AI（人工知能）の活用とともに会計年度任用職員についても全庁で行政管理室を中心に検討している。現在準備中であるので詳細の公表は控えたい。総務省の技術的助言を踏まえて進めている。

質問

新たに必要な財源額、国の助成額はいくらか。今後の予定される条例名、議会への提案時期はいつか。

答弁

行政管理室管理監
一昨年の独自試算では1億円の負担増をみている。国からの助成は不明。

予定している条例名は「喜界町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例」、関連する既存条例の洗い出しもしており9月議会に提案予定である。

早町港待合室の設備について

質問

新しくなった早町港待合室は町民の評判も良い。テレビの設置と悪天候で早町港入稿時にタクシーが呼べなくて困っている町民もいるので公衆電話を設置していただきたい。公衆電話は災害時にも有効である。

答弁

総務課長
年間50日ほど早町港が利用されているが、待合室の滞在時間も限られているので今のところテレビの設置予定はない。

公衆電話は利用が見込めずNTTの協力も厳しい。ただ、乗船券発見窓口で柔軟に対応しているケースもある。（困った時は窓口にご相談を）災害対応としての公衆電話は今後検討していきたい。

基金について

質要

自治体の基金は、自治体が蓄えている貯金である。種類としては使い道を決めてない「財政調整基金」、借金（地方債）返済に備える「減債基金」、特定の目的を定めた「特定目的基金」などがある。昨年の大規模災害対応を除けばここ10年間着実に基金を積み上げており、奄美群島内11町村で龍郷町とともにトップクラスにある。一方で国は地方自治体の基金を

埋蔵金として地方交付税を減らす
うとの動きがある。

参考資料

(議長会発行「行財政諸資料」比
較可能なH29年度数値 金額単
位：千円)

(1) 財政調整基金 単位：千円

① 龍郷町

2,593,750

② 喜界町

1,698,069

龍郷町との差

マイナス895,681

③ 瀬戸内町

1,371,310

(2) 積立金現在高(財政調整基金
+ 減債基金+その他特定目的基
金)

① 龍郷町

3,421,373

② 喜界町

3,257,884

龍郷町との差

マイナス163,489

③ 和泊町

2,441,700

質問

過去10年間(H21～H30)の毎
年度の「財政調整基金」残高はい

くらか。財政調整基金の目的およ
び適正額をどのように考えている
か。

答弁 総務課長

財政調整基金の残高は平成21年
度末が873,120千円、平成
22年度末で941,758千円
(途中年度略)平成29年度末1,
698,069千円、平成30年度
末は災害対応で205,653千
円取り崩すため1,492,416
千円見込みである。

財政調整基金の目的は経済情勢
の変動による減収への備え、予期せ
ぬ自然災害への対応の為。

財政調整基金の適正額は町とし
て15億～17.5億と考えるが今後
さらに検討していきたい。

質問

国の地方財源を減らそうとの動
きは断じて容認できないと思うが
町としての認識はどうか

答弁 総務課長

国のさまざまな事情はあるが、自
治体としては如何なものと思う。

イヌネコ対策について

質問

懸案であった動物病院の出張診
療が実現し、多くの町民に歓迎さ
れている。どのような診療実績で
あったか。今後の予定についても伺
う。

今回は飼ネコ・イヌであったが、
今後はノラネコへの対応も検討した
らいかがか。

答弁 住民課長

今回は5日間の日程で58頭が受
診し、手術はネコが34頭、イヌが
9頭であった。今後の出張診療は6
月初旬、その後は年4回ペースで予
定している。

ノラネコは多くの自治体の課題で
ある。本町では専門家や保健所の
助言をいただきながら「餌あげ禁
止」など啓蒙活動を行っていきま

質問

ぬかるみ圃場の見直し改善につい
てお尋ねするものです。

この圃場は、昔から湧水場所
であったと、そういうこともあり、
現在は今期の製糖終わりのころに
は、ハーベスターが2台も刈り取り
に入ったが、車体までつかり、この
先は進めないということ、結局は
刈り残りが生じた。その圃場に対
して客土は考えられないか。その
畑の脇に排水溝が設置してあるが、
畑より排水溝が高くなっており、
圃場の水は畑に残ったままになる。
排水溝の高さまで客土がなされる
と、これはぬかるみが解消できるん
ではないかと。その周辺の改良事
業は、あるいはまた昨今事業が進
んでおる土層改良事業等に対応で
きないものか。

答弁 農業振興課長

製糖時期終盤については、雨も
多く、また、その現場の近くには
湧水があつたりということで、大変
刈り取り作業には御苦労されたと
理解をしている。そういうことを
踏まえて、今年度から県の事
業であります畑地帯総合整備事業
が、佐手久、志戸桶、小野津地
区を中心とした喜界島北部地区を



質問する
里村 忠弘 議員

農業振興について

対象に実施され、この事業では、暗渠の埋設、排水路・排水溝の整備、あと、土層改良や、一部では区画整理が行われることとなっております。客土につきましては、現段階では事業の対象外となっております。

また、事業の計画、スケジュールとしては、これも現段階で、今年度中に測量設計を終え、来年度中、令和2年度中の着工、令和11年度の事業完了を予定しており。なお、事業完了には長期間を要することから、水土里サークル事業、いわゆる農地・水の事業などを活用して、側溝・水路の清掃、あと、土砂の撤去等を含め、排水対策を行っていきたいと考えている。

屠畜場の施設の改善について

質問

屠畜場の施設の改善について、屠畜場外部を見渡す限り、ブロック塀で囲いされている。そこで、屠畜場の内部、外部の見直し改善は考えられないか？

①屠畜場外部のブロック塀を現状より高くできないか。

②屠殺する場所の見直し、改善は考えられないか。

③屠殺する方法を見直し、電殺す

る方法はできないか。
④女性用の簡易トイレでも設置はできないか。

⑤屠畜場内部の製水機の修理か新規導入は考えられないか。

答弁 住民課長

現在の屠畜場は、昭和47年建設で老朽化しております。過去に建てかえ計画があったが、実現に至らなかった経緯もある。

対策として建物、につきまして、平成28年度に鉄筋コンクリート造部分の補修工事を平成29年度には木造部分の補強を行っており、これからも当面は不都合があれば修繕等で対応しながら既存施設を少しでも長く利用していきたいと考えている。

屠畜場外部のブロック塀のかさ上げについては、老朽化や地震対策から難しいと思われ、板塀、生け垣等で対応を検討している。

屠殺場については、保健所、利用者、管理者等と協議していきたい。電殺機につきましては、屠殺の主流であると聞いており。家畜の命への敬意も守れることから、導入を検討したい。

女性用の簡易トイレ設置は、利

用者と協議しながら検討していく。製水機故障につきましては、修理を依頼してある。



質問する
野間 弘也 議員

観光振興について

質問

観光振興について、環境問題や治安問題など、民間と連携した課題解決を。

観光業に取り組みの中で最初の課題として、トイレの設置、清掃、それから案内板の充実が挙げられた。町当局の取り組みで、町内のトイレが綺麗になった。案内板があり助かる。と多くの声がある。

質問

トイレ清掃や案内板の設置などが充実してきており、今後次の段階の取り組みが必要と考える。そのことから伺う。

①現在抱えている課題は何か。

②今後の施策について、ハード面、ソフト面での具体策はあるのか。

③年間での来島者数や経済効果など目標数値はどのように考えているか。

答弁 町長

喜界町は、従来から農業立島を標榜してきたが、加えて観光にも積極的に取り組むべく、平成29年3月に喜界町観光振興計画を策定し、広報や環境整備に取り組んでいる。

昨今、奄美群島では、世界自然遺産候補地としての名声や、格安航空会社の就航などにより観光客が大幅に伸びてきているが、喜界島は若干の伸びに留まっている。

課題は、航空運賃の高さや宿泊施設の不足が挙げられる。今後ともブームに流されることなく、島の持ち味を守り育てながら、息の長い観光地づくりを目指していきたい。

答弁 企画観光課長

課題は航空運賃の高さ、宿泊施設の不足、ガイドの不足などが挙げられる。

今後の施策について、ハード面では、島の魅力ある観光地づくりを利用し、手久津久集落のガジユマル周辺の整備を行う。ソフト面では、



スギラビーチ

喜界島エコツアーガイドの初期段階の研修を今年度も開催していく予定。また、喜界島エコツアーガイド協議会と連携し、認定のエコツアーガイドの育成を図りながら、利用者に安全で質の高い体験を提供し、地域の環境保全に責任を持つガイドの育成を目指す。

年間での来島者数や経済効果の目標指数は、平成33年度の目標数値を6万5,000人と設定している。経済効果の数値については試算していない。

質問

観光客の受け入れについて伺う。



サンゴ研究所&カフェ



サップ

①どのような客層をターゲットに考えているのか。

②インバウンド（外国人）の受け入れも視野に入れてしているのか。

答弁

企画観光課長

学術的な価値の高い資源を活用した観光や、島内の研究機関を活用した体験型の教育観光、農業体

験の受け入れ、集落景観を生かした観光の推進、また、郡内でも利用者が多い島博覧会の充実、それから、島で時間も仕事も忘れ、都会での疲れを癒すスローライフ観光、これらの方々をターゲットに考えている。

インバウンド（外国人）の受け入れについては、受け入れる方向で、地域通訳案内士の育成に努めている。現在、英語が4名、中国語が5名の通訳案内士がおり、奄美市以外では、奄美群島内では最多となっている。

質問

今後、クレジットカード決済やスマホ決済など、キャッシュレス対応も必要と考えるが、見解を伺う。

答弁

企画観光課長

クレジットカードは大部分のお店で使えると認識している。キャッシュレスについては、規模の大きな店舗でも導入されていない。導入の検討を進めている店舗もあると聞いている。導入については、経済産業省でキャッシュレス端末の支援があり、自己負担なしでキャッシュレスの決済端末を導入できる。商工会で各会員へ説明を行っている。

質問

本町の航空・船舶便は、鹿児島からの便しかなく、観光客受け入れは奄美本土を經由しなければならぬことから奄美群島との連携が大事と考えることから伺う。

①奄美本土を經由する観光客を受け入れるためには航路の充実が必要と考えるが、どのように考えているか。

②奄美群島と連携したツアーやイベントなどの施策はあるのか。伺う。

答弁

企画観光課長

奄美空港は関東、関西は九州だが、福岡、鹿児島、沖縄との各路線があり、群島のハブ空港というふうに捉えている。奄美空港発着のLCC効果は喜界島にもあらわれており、空路による喜界島の入り込み客数は右肩上がりだが、徐々に増えている。しかし、奄美路線の搭乗率には若干余裕があるので、奄美空港を訪れた観光客をいかに喜界町に呼び込むかが課題。

奄美群島と連携したツアーやイベントの施策については、奄美島博覧会の、参加者が非常に好調である。今までは夏と冬という形であったが、今年度は1年間を通して取

り組む。新しい体験型商品の開発や参加団体への呼びかけや、観光クーポン券、通称ヨロコビ券を利用した体験型の観光もPRするため、喜界島観光物産協会と連携し行っていく。その他、奄美大島観光客向けの喜界島パンフレットを検討している。イベントについては、奄美群島との連携は、特に考えていない。夏祭りの花火大会は、観光客からも非常に好評である。上嘉鉄青年団発祥で独自の上嘉鉄盆おどりに多くの若者が集まる。これら既存の行事等をうまくPRし、観光客の取り込みにつなげていきたい。

質 要

土日、平日ともに行事、イベントが多く行われている。ひとつひとつの取り組みに労力を強いられる。伝統行事などは、使命感でしっかりと守り、まとめられる事は、まとめ減らすべき事は減らす必要があるのではないか。

質 問

平日、休日ともに行事が多くあり、労力を強いられる。民間行事も含めて、行事の簡素化を行うべきではないか。

答 弁

総務課長

これまで町民の皆さんや職員の負担軽減のために、町主催の行事については、できるだけ効率的に行うように努めてきた。時間帯、場所、プログラム等についても柔軟に対応してきている。

イベントは、地域の活力、町民の生きがいにもつながるものなので、一概に簡素化というわけにはいかないが町関係のイベントについては、再度検証をしていく。

質 問

形式的な会議にならないための取り組みを行っているか。

答 弁

総務課長

会議はそれぞれ目的があつて開催される。会議を開催するにあつては、当然、会議に出席される方には会議の趣旨を理解し参加いただくべきと思う。事務局でたたき台を作っておくなど、しっかりと準備をする必要があると考える。会議の必要性も含めて、全体的に見直しを行い、必要があれば改め、形骸化しないように努める。



質問する
榮 優太 議員

多目的運動公園の整備について

質 問

町グラウンドに拡張整備を行い、多目的運動公園はできないか。

答 弁

教育長

各自自治体においては、総合振興計画に基づいた行政運営の推進に努めているところである。我が喜界町においても、第5次振興計画に沿つて、平成23年度から令和2年まで各課事業の10カ年計画を立てており、それに基づいて事業を進めているところである。生涯学習課においても、総合グラウンドについては平成27年3月に幾つかの改修工事を行ったところである。このような経緯等を踏まえて、現時点では総合グラウンドの多目的運動公園化は難しいと考えている。

質 問

多目的運動公園をつくることにより、大会や合宿の誘致、ランニン

グコースでのお年寄りの健康増進、子供から大人まで大勢がコミュニケーションできる施設となり、島の活性化、また経済効果にもつながると思うが、見解を伺う。

答 弁

教育長

多目的運動公園を整備することによつて、多種の大会、また合宿等の誘致に伴う経済効果であったり、また地域の活性化という指摘かと思うが、次期総合計画の中で国の事業等を見ながら検討していきたいと思つているが、現在、大会あるいは合宿誘致等については、現有の施設等を活用して、昨年度は鹿児島工業高校、甲南高校など、高等学校を中心とした働きかけ、訪問して誘致活動を進めてきた。実績として、武岡台高校男子テニス部、鹿児島南高校女子テニス部、奄美市立大川中学校ソフトテニス部、大島北高校女子バレー部に来島していただいたところである。当分の間は、現有の条件の中で最大の誘致活動をしていくことによつて、活性化等につなげていきたいというふうに考えている。

公園整備について

質問

本町には、多くの小規模公園があるが、大型遊具のある公園がない。子供から大人まで大勢が触れ合いながら、遊具を楽しみながら、子供の基礎体力向上、お年寄りのリハビリになるようなアスレチック遊具が必要だと思うが、整備できないか。

答弁 企画観光課長

空港臨海地区で言いますと、20年以上が経過しており。そのため、施設の経年劣化がかなり見られる。そのため、昨年度、役場内で総合的な改修に向けた検討委員会を立ち上げたところである。また、それに先駆け、平成29年度にはターザンロープの設置やバスケットボール専用のスリー・オン・スリーのコートを改修したところである。こういったことから、開園当時の島内環境とか、あるいは利用者のニーズに多少違いが出てきており、今後、広く町民の御意見をお聞きし、これから先の利用者のニーズを把握しながら、安全や景観等に配慮した空港臨海公園全体の構想の中で、高齢者や子供たち、障がい者

の方も利用しやすい施設として多様な利用形態を含めた形で総合的に検討してまいりたい。

通学路の街灯や安全対策について

質問

全通学路において危険を防止するため、街灯が必要ではないか。また、通学路の安全対策の徹底。いつどこで何が起こるか分からない。危険箇所の整備などが必要ではないか。

答弁 教育長

最近全国的に子供が犠牲になる交通事故や事件などが相次いで発生し、国においても関係閣僚会議を開くなどの動きが報道された。子供の命を守ることは、家庭や学校を初め、地域や大人社会の第一義的な責務であると考えている。質問の件についての街灯の整備、通学時間の車の進入禁止区域やガードレールの設置等についてお答えする前に、現在の通学路の安全対策の取り組み状況等について。

町内各小中学校においては、通学路の安全点検をもとに、危険箇所には担当職員が安全指導を行ったり、月2回程度保護者が登校指

導等を実施したりしている。

教育委員会としては、毎年教育委員会が主催して、喜界幹部派出所、喜界事務所建設係、町建設課、小中学校、教育委員会が一緒になって通学路における合同点検を開催し、危険箇所の点検や情報共有、学校や保護者からの要望や対応、通学路の見直しなどに取り組んでいる。あわせて、スクールガード1名を委嘱し、年間35回の巡回指導や見守り活動、点検箇所の確認や報告等を実施しているところである。

街灯、あるいはまた進入禁止区域、ガードレールの設置等についてですけれども、道路状況、あるいは交通事情等によって特に危険度が高いと思われる喜界郵便局周辺の通学路については、現在のところ担当教員が安全指導を行っておるが、先ほどの関係機関等による合同点検においても、登校時の交通規制等の要望も出ていることから、スクールゾーンの指定の可否、あるいは是非を含めて警察や関係部署及び合同点検の中で協議してまいりたいと考えている。

次に、街灯の整備については、以前にも一部設置した経緯や、町議会でも質問があったようですが、

その際にも県との協議や交通量の問題、集落等の関係や町全体をどうするかなどの課題が挙げられた。教育委員会としても、先ほどの合同点検においても、現在のところ、特段の要望や意見等は出ていないこと、あるいはまたスクールバスの有効活用なども含めて考慮して、現在のところ街灯の整備は考えていない。

第62回奄美群島議会議員大会報告

去る5月15日龍郷町にて第62回奄美群島市町村議会議員大会が開催されました。県議会議員、市町村首長、市町村議員、関係者178名が出席し、各市町村が抱える問題について、議案が提出されました。

【各市町村の提案事項】

（龍郷町・喜界町）

主要地方道名瀬龍郷線の秋名～大熊バイパスの早期着工について

（奄美市）

奄美群島における水産業振興の強化について

（大和村・宇検村・瀬戸内町）

国道58号線

（奄美市住用町役勝～網野子トンネル起点間、勝浦～阿木名間）の改良促進について

（徳之島町・天城町・伊仙町）

旧亀徳港岸壁の10万トン級バスへの延伸改修について

（和泊町・知名町・与論町）

さとうきびハーベスタ利用助成金の創設について

（議長会）

路面電車ルートへの鹿兒島新港までの延伸について

◎議案議事終了後、「働き方改革」

が奄美群島の地方創生推進力に結び付くとの演題で、町田酒造株式会社 代表取締役社長中村安久氏の講演がありました。

社長や役員だけが潤う会社ではなく、社員も潤い働きやすい職場環境に取り組んでいるお話がありました。現代にあった、就業規則改定、産休・育休の充実や定年退職を70歳まで引き上げなど32の項目の取り組みを行っています。なかでも副業の推進は、社員のスキルアップや人材不足の解消を図り地域貢献に繋がる取り組みとして、今後本町でも検討が必要ではないかと考えるところでした。



喜界町議会外内議長

議会のうごき（7月～9月）

- 7月5日 令和元年第1回臨時会
- 7月10日 公立高等学校説明会（奄美市）
- 7月11日 正副議長研修会（鹿兒島市）
- 8月8日 市町村政研修会（鹿兒島市）
- 8月28日 議会広報研修会（鹿兒島市）
- 9月初旬 令和元年第3回定例会
開会 議案上程・一般質問
- 9月中旬 令和元年第3回定例会
最終本会議（委員長報告他）

◆ 条例・同意案件報告 ◆

（議長は採決に含まず）

議案	内容	賛成	反対	採決
議案第30号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	11	0	採択
同意案第2号	固定資産評価員の選任について（税務課長 岩松 利和）	11	0	採択

諸島の報告

議長 外内 千里

◆ 4月11日 奄美市 大島郡町村議長・事務局
長合同会

行事予定、第62回奄美群島市町村議員大会
次第の決定と自治功労表彰者名簿及び各地
区・議長会提出議題の確認

龍郷町・喜界町提出議題は龍郷町の要望で「主
要地方道路名瀬龍郷線の秋名く大熊バイパスの
早期着工について」

◆ 4月24日 鹿児島市 保岡興治前衆議院議員
告別式

4月25日 鹿児島市 県政説明会

4月26日 鹿児島市 「次期奄美群島振興開
発計画（原案）」2019年度く2023年
度市町村長・議長説明会

午後 城山観光ホテル「天皇陛下御即位鹿児
島奉祝会」

◆ 5月7日 鹿児島市 離島振興町村議会研修
会、臨時総会
役員改選 離島議長会会長 外内千里（喜
界町議会議長）

副会長 岩川議長（屋久島町）・監事 林議
長（長島町）

5月8日 午前 鹿児島町村議会臨時総会
会長 福地議長（与論町議長）、副会長 岩
川議長（屋久島町）・監査 林議長（長島町）
選出

午後 議員研修会 中央大学法科大学院教

授の野村教授による「地方創生・創生のカギ」、
県企画部地域政策課の森豊集落活性化推進監
による「過疎地域自立促進特別措置法に基づ
く主な政策、県総合保健センターの瀬戸山次
長の住民の健康管理対策についての講話：喜界町
議会議員全員出席

◆ 5月12日 尼崎市 第83回関西喜界会郷友会
総会・運動会

総会は関西志佐会の新田幹夫会長のご挨拶で
開会し喜界町からは、隈崎副町長と私が出会
いたしご挨拶させていただきました。来賓とし
て奄美の各郷友会関係者、地元の国会議員、
市会議員等が出会いたし、総会においては活動
報告、決算等が承認され、新会長に早町校区
会の向井 佑豊氏を選出し新役員体制が承認さ
れております。

運動会では各校区にわかれ優勝旗の争奪戦が
行われましたが、和気あいあいの雰囲気の中
でおこなわれましたが、各郷友会の課題でありま
すが役員の選出、新たな出身者の参加呼び掛
けに苦慮している様です。今後地元の喜界町と
郷友会の協力体制を密にし各郷友会の継続安
定を図る必要があると思われれます。

◆ 5月15日 龍郷町 第62回奄美群島市町村議
会議員大会開催

各市町村の議員、市町村長、県会議員、大島
支庁長他関係者等178名が出席し各市町村、
議長会提出議題6件を提案し採決しておりま
す。また奄美群島振興交付金の充実・拡充等
17件が決議されております。また研修会では、

「働き方改革」が「奄美群島の地方創生推進
力に結び付く」の演題で、町田酒造株式会社
代表取締役社長の中村安久氏が鹿児島銀行退
社し平成28年に現職に就任してからの社内改
革、労働条件の見直し等様々な取り組みで立
て直しを行い、優良企業に仕立てた経緯等の講
話があり大変有益な研修で有りました。

◆ 5月22日 奄美市 各種協議会開催

3日間開催された協議会で議長関係は奄美群
島航路対策協議会、広域事務組合臨時議会、
大島袖振興対策協議会、地域産業振興基金協
会評議員会に出席、航路対策協議会では知名
町からは欠航が多い空路対策の例をあげ、発
着の時間制限緩和と照明設備の充実を群島全
体で今後を見据えた空港整備に取り組む必要
性と与論町から長期欠航が多い与論の港の整
備についての要望がありました。

◆ 5月28日 東京 全国議長、副議長研修会開
催

山梨学院大の江藤教授他2名の教授による「町
村議会議員の議員報酬等のあり方最終報告」
について説明がありました。ほか町村議会特別
表彰を受けた3町村の事例発表など活発な議
会活動を拝聴しました。

5月29日 鹿児島市 燃ゆる感動かごしま国
体・かごしま大会実行委員会第3回総会開催
本町では正式競技の予定はないが2020年
8月2日に湾港で開催されるフネカー競争が
デモンストラーションスポーツとして計画されてお
ります。

竹田 一典

平成から令和へと年号は変わったが、6月に入りいつもの年と変わらず、この島は梅雨の季節を迎えている。

今日も朝から雨だ。

「晴耕雨読」。晴耕の方はさっぱりだが、この雨の時期、雨読の方はかどるからまんざら嫌な季節ではない。そんな雨の日でも雑用や頼まれた仕事などあるのだが、雨の打ち込まない縁側のイスに座り図書館から借りてきた老眼鏡無しでも読みやすい大活字の本のページをめくっている。ふっと気付けば雨音に混じってコン、コン、コンと槌音が聞こえてくる。20m程離れた近所で家の建て替え工事をしているのだ。湾や赤連などでは建設現場など日常だろう

けど、私の住む戸数40戸余りの小さな集落ではそうある事ではない。以前新築が建ったのはもう12〜3年前だっただろうか。もうすぐ完成間近の家を見ていたら明るい気分になってくる。ただその新築の家の隣の敷地には空き家がある、毎年台風の度に壁やトタンが吹き飛ばされ無残な姿を晒している。この小さな集落でも10件ほど、こうした空き家がある。

近年人口減少に伴い、全国各地でこうした空き家が増え社会問題となっていると聞く。なかなか対策は難しいらしい。議会でもたびたび議題が上がっていると思うが、粘り強くこの問題に取り組んでほしい。

さて雨が小休止みたいなので、この隙に犬の散歩に行つて来よう。

第3回定例会は、9月上旬を予定しています。

午前9時30分 開会 皆様の傍聴をお待ちしています。

また、喜界町ホームページでは、議会開会中の模様をインターネット中継でご覧いただけます。

(動画配信サイトで「喜界町議会定例会」を検索していただき、録画もご覧いただくことができます。)

お問合せ 喜界町議会事務局 電話 65-1115

ご案内

編集後記

10月の消費税率の10%への引き上げに際して、低年金者などへの影響緩和に向けて「プレミアム付商品券」が発行されます。

低年金世帯を含む住民税非課税世帯(生活保護世帯を除く)と3歳未満の子供がいる世帯。購入限度額2万円で2万5千円分の買い物ができます。また低年金の高齢者への福祉的な加算として、保険料を納めた期間に応じて恒久的に月額最大5千円(年6万円)を上乗せする「年金生活者支援給付金」制度が始まります。国はこの制度のように誰もが安心して老後の生活を送れるような社会を目指すべきだ。

文責 生駒 弘

喜界町議会広報委員会

委員長 生駒 弘

副委員長 河上 弘仁

委員 良岡 理一郎

委員 野間 弘也

委員 峰山 恵喜光

委員 榮 優太